

平成27年度 学校評価資料アンケートの「集計結果」及び「考察」

千葉県立湖北特別支援学校
学校評価委員会

実施概要

本校の平成 27 年度「学校評価実施要領」に示した学校評価の「目的」を踏まえ、今年度より再編成した「分掌組織」ごとの重点化した調査項目について、アンケートによる意見収集を行った。

前述の調査項目は、学校関係者委員会（兼・開かれた学校づくり委員会）の審議を通して、策定したものである。

「職員対象アンケート」と「保護者対象アンケート」は、設問に相関性を持たせ、職員の「自己意識」（教育の実施主体としての組織の内部意識・感覚）と保護者が学校に向ける「外部からの意識」（教育の受益者側としての要望・期待）の相違点を把握するようにした。両者の意識格差を測り、結果が乖離している項目について、教育活動の一層の適正化・向上を図るための方策や具体的な取組を検討する。

また、同結果を数値化し序列した「上位・下位項目」を参照し、本校の「良い点」「課題」を模索し、今後の業務改善に繋げるための検討材料として活用する。

また、この考察結果等を踏まえ、「学校評価結果」（分掌組織総括及び次年度への改善策）として総括を行う。

集計方法

「職員対象アンケート」及び「保護者対象アンケート」は、それぞれの調査項目（設問）に対して、[1 十分そう思う。 2 そう思う。 3 あまりそう思わない。 4 改善が必要。] の 4 つの中から選んで回答してもらった。また、調査項目以外にも、意見・要望の欄を設け、幅広く意見を求めた。

数値化するにあたり、以下の基準でポイントを割り当てた。

肯定的回答	[1 十分そう思う。]	(3ポイント)
	[2 そう思う。]	(1ポイント)
否定的回答	[3 あまりそう思わない。]	(- 1ポイント)
	[4 改善して欲しい。]	(- 3ポイント)

集計方法としては、設問（1～28）について、回答総数に相違がある（設問により無回答がある）ことを考慮し、平均値を算出して処理した。

考 察

※回答数 保護者 85 名（98 名中） 回答率 87%

職 員 50 名（54 名中） 回答率 93%

1 職員と保護者のアンケート結果の比較（意識比較）

〈資料1〉参照 （※フルスコア3ポイント 実施結果平均値 1.9ポイント）

全体的に、「保護者の回答値」が「職員の回答値」を上回る項目が多く、職員の予測よりも好評を頂いているといえよう。

しかし、学校としての「良い点：成果」や「課題：改善点」を明確化し、学校運営の向上を図り、保護者や生徒の満足度をより一層高めていくための「評価」活動であるという趣旨に立脚して、本校の「課題」として受け止め、確実に改善していくべき項目を以下に明記する。

○（保護者の回答値）＞職員回答値）のうち上位3項目 【高評価3項目】

- ①「個別の支援計画」や「通知表」が子どものニーズを踏まえて、適切に作成されていますか。」
- ②「一人一人にあった内容で、楽しく、分かりやすい授業が行われていますか。」
- ③「お子さんを本校に入学させてよかったと思っていますか。」

○（保護者の回答値＜職員の回答値）のうち格差が大きいもの3項目 「課題」として扱う。

- ①「将来の進路について考える機会や情報が提供されていますか。」
- ②「生徒の進路に関して、学校と家庭や地域との連携は良くとれていますか。」
- ③「生徒や保護者の気持ちや要望をとらえ、学校と家庭と一緒に進路について考えられていますか。」

※「課題」については、保護者・職員に御記載頂いた具体的な意見を踏まえ、対応・改善策を該当分掌から提示する。
別冊の「学校評価結果」に記載する。

2 保護者のアンケート結果

〈資料2〉 参照 (※フルスコア3ポイント 実施結果平均値 1.9 ポイント)

保護者のアンケート結果のうち、平均値が高いもの(3つ)を以下に列記する。

【高評価3項目】

- ①「集金に関して明朗な会計処理が行われていますか。」
- ②「お子さんの個人情報等のプライバシーが守られていますか。」
- ③「個別の支援計画」や「通知表」が子どものニーズを踏まえて、適切に作成されていますか。」
- ③「体育祭」や「湖翔祭」等の学校行事の内容は充実していましたか。」

以下に平均値が低いもの(3つ)を列記する。

記載する「評価が好ましくないもの」の上位2つは、前述1「職員と保護者の意識比較の結果」の『課題』として扱った「O(保護者の回答値<職員の回答値)：職員の予測よりも保護者の回答値が低いもの」の①③と共通である。

【課題3項目】

- ①「将来の進路について考える機会や情報が提供されていますか。」
- ②「生徒や保護者の気持ちや要望をとらえ、学校と家庭が一緒に進路について考えていますか。」
- ②「保護者のニーズに応じた研修会が実施されていますか。」

3 職員のアンケート結果 (参考)

〈資料3〉 参照 (※フルスコア3ポイント 実施結果平均値 1.8 ポイント)

職員のアンケート結果のうち、平均値が高いもの(3つ)を以下に列記する。

【自己評価の高い3項目】

- ①本校では、集金に関して明朗な会計処理が行われていますか。
- ②「体育祭」や「湖翔祭」等の学校行事の内容は充実していましたか。
- ③事務職員・介助員等の職員の対応は適切ですか。

以下に平均値が低いもの(3つ)を列記する。

職員による自省の一つとして、着目する。

【自己評価の低い3項目】

- ①一人一人にあった内容で、楽しく、分かりやすい授業が行われていますか。
- ②教育設備の整備に努力し、美化・整理整頓は行きとどいていますか。
- ②職員は、保護者の願いに応えた教育活動を行っていますか。

4 成果と課題

上記のアンケート結果や第二回開かれた学校づくり委員会資料である「学校運営進捗状況」等を十分に勘案し、「本年度の教育活動の成果」及び「次年度に向けた課題(改善策の方向性)」を提示する。

『成果』

〈資料1〉及び〈資料2〉で【高評価】に挙げた具体的な項目が、本校の良さ(成果)であると捉える。

高評価を得た項目については、現状を維持することはもちろんであるが、個別の記載意見を受け止めて、今後も、取組の改善に努める。

- 1 今後も「適切な個別の支援計画や通知表の作成」、「楽しく・分かりやすい授業の実施」及び「行事の一層の充実」に努める。

- 2 適切な会計処理・個人情報の厳格な管理を堅持しつつ、一層の「コンプライアンス意識の高揚」し、「不祥事ゼロ・休職ゼロの状態を保持」すべく、「信頼される学校づくり」を推進する。
- 3 「希望の入学」をしてくる生徒すべてに「満足の卒業」をさせるために、平成29年度（第一次完成期）を見据えた「湖北」としての取組を行う。

『課題』

〈資料1〉〈資料2〉及び〈資料3〉から、今後の課題を検討し、次年度の具体的な改善策・対応を各担当分掌が検討し、学校評価結果に提示する。

課題1「進路指導体制の構築と具体的方策の充実」

生徒にとって最後の学校となるので、出口の保障（卒後の活動・活躍の場の確保）としての進路指導・進路決定に対する保護者の期待は大きい。

当然、職員もそのことを自覚し、自ら問題提起としての意見を記載している者も多い。生徒理解及び保護者の要望に基づいたより効果的な指導・支援の拡充と「学校組織としての進路指導」体制を確立する。

今年度のアンケート結果と頂戴した個々の御意見を受け止め、保護者との円滑な情報交換を推進することを含めて、当該分掌（進路指導部）で検討し、具体的な対応策を提示する。

課題2「校内美化の徹底」

本校職員の自省に基づく課題である。広い校舎で少人数が学習する恵まれた環境であるが、清掃活動等が不十分になっていることは否めない。

学校説明会参加者をお願いしたアンケートにも、階段や廊下等の清掃が不十分なのが指摘されるという残念な結果があった。

また、教室の環境整備や生徒の安全確保について、学級格差が大きいことは否めない。全校的な点検・確認体制の見直しを行う。

週一回実施の職員による清掃活動である「クリーンディ」の実施方法の再検討や「教室環境整備を含めた校内美化全般」に関する方策について、総務部で検討し、具体策を提示する。

課題3「研修会の充実」

研修会については、現在、職員が必要とする内容を精査し、実施しているところである。保護者宛てにも御案内を差し上げ、一定程度の参加も頂いている。

次年度以降は、職員向け研修会を基本としつつも、保護者の希望調査の実施や「保護者向け研修会」の開催も考えられよう。

生徒の特性を的確に把握・分析し、実態に適った指導・支援を推進するための研究・研修に努めるとともに、保護者にもできる限り共有いただけるよう研修活動の充実を図りたい。研究・研修部で検討し、改善案・対応をに提示する。